

# 岡崎民報

13. 11. 10  
No. 11357

岡崎市広幡町一の  
1  
Tel 23の3337  
Fax 21の0712  
日本共産党岡崎市委員会

## 2013年自治体キャラバン 岡崎市と交渉 「高い国保料払えない! 学校給食費を無料に」 暮らしの声 次々と訴え

10月25日、愛知県社会保障協議会に参加している年金者組合・民主商工会・保険医協会・新日本婦人の会・日本共産党など各団体が岡崎市と「福祉、介護、医療」などについて懇談を行いました。

市民団体から32名の参加があり、市職員も30名余が応対しました。



左側が自治体キャラバン参加者、手前が職員側

### 年金天引きやめて! バスを走らせてほしい

参加者からは、

「高い国民健康保険料や市税が払えない。滞納分を分納で支払う約束していたのに、担当者が変わったら差し押さえをされてしまった」

「わずかな国民年金から介護保険も後期高齢者医療の保険料も天引きされてしまう。払うから、年金から天引きしないでほしい」

「どの子も親の経済状況によらず、教育が受けられるようにと作られた就学援助制度なのに、生活保護の1、1倍の所得基準では低すぎて受けられない。せめて豊田市・豊橋市のように生活保護の1、4倍にしてほしい」

「介護保険制度が改悪されて要支援1・2が制度から閉め出されるのはおかしい。高齢者の共同住宅は、スプリンクラーもエレベーターもないと

ころがある指導しているのか」  
「高齢者の外出を支援できる公共交通、特にバスを走らせてほしい」

「高齢者肺炎球菌ワクチンの補助3千円をもっと増やしてほしい」

「学校給食の無料化をしてほしい。県内の自治体では半額のところもある。無料もしくは軽減してほしい」

など次々に切実な発言がありました。

## 市制施行100周年(平成28年)記念事業 パブリックコメント始まる

平成28年に岡崎市は市制施行100周年を迎えます。

現在、100周年記念事業等の計画が進められています。

岡崎市議会では今年一年間、「100周年検討特別委員会」を設置し、議会として記念事業をどう行うのか、他市の事例も研究しながら論議してきました。

日本共産党市議団は、「あくまで市民参加、市民の手によってつくりあげる事業に」と強調し、基本構想にも「市民と創る新世紀岡崎」と盛り込まれました。

市の答弁の要約として

○税の滞納に対する差し押さえは、資力や本人の言い分等を調査し、生活が立ちゆく程度の預貯金を残している

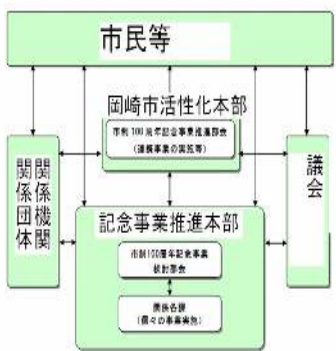
○介護保険は法律で年金から天引きをするとされているのでできない。国保料や後期高齢者医療保険料については口座振替にかえることができる

○公共交通・バスの運行については総合交通政策の改定を

基本構想案に具体的な事業

は掲載されていませんが、市政100周年を市民の手で祝える事業にするために、みなさんのご意見をぜひ、お寄せ下さい。

パブリックコメントは11月6日から12月6日まで行われます。



福祉や地域経済の視点で検討する、来年パブリックコメントを行う

○就学援助制度は、生活保護基準の引き下げが影響しないようにと文科省の指導もあった。

○水ぼうそうなどの定期接種化は国が検討中。肺炎球菌ワクチンの補助金額については、愛知県広域連合がどこまで予算をつけるか現時点ではわからない

○学校給食の無料化は、内田市長の公約でもあるが財政的に大変。

### 清潔荘をなくさないで

「清潔荘をなくさないでほしい」との質問にたいし、以前は「子ども発達センター(仮称)を新たに作り、しょうがい児者に特化した施設にする」としていたものが、「現在の貸し室スペースを残していく」ニュースを含む回答がありました。

※ 自治体キャラバンとは、「住民の暮らしや福祉をよくしていく」と各団体が加盟する愛知県社会保障協議会が県下の全自治体に要請や要求を毎年行っているものです

# きまた昭子市議 市政報告会 開催 「新文化会館」をはじめ 市政に対する意見

10月19日、竜美ヶ丘会館で開催した市政報告会には、初めての方も含めて19名の参加がありました。26日には、げんき館で15名の方が参加されました。

12月に、内田市長が結論を出すという、この間の経過と日本共産党



市議団の質問内容を報告しました。

参加者からは、

○市民会館については、名フィルの小林研一郎氏が、春・秋岡崎の市民会館で行う演奏で「もう一カ所大きな会場がほしいですね」といわれた。新文化会館を建設してほしい。

○リバーフロント構想については、

東岡崎駅周辺には飲み屋ばかりで喫茶店も食事をするとところもない。橋にお金をかけても観光客は増えない。

○市政だよりに外国人が分かるよう「予防注射・手続きの仕方」外国語版を作ってほしい。

など参加者から沢山の要望をいただきました。今後調査をし、市にも要求していきます。

また、市内各地で市政報告会を準備していきます。みなさまのご参加をお待ちしております。

## 日本共産党岡崎市議団



市議会議員

きまた昭子



市議会議員

鈴木まさ子

## 参議院議員 井上さとし



5日、三回目当選後、初めての委員会質問。外交防衛委員会で武器輸出三原則の見直し問題を取り上げました。

武器輸出三原則は、この間、様々な例外措置による抜け穴が作られてきました。安倍内閣はそれをさらに見直そうとしています。

重大なのは、見直しの理由に、日本の軍需産業の「国際競争力強化」をあげていることです。

私の質問に小野寺防衛大臣は、軍需産業の国際競争力強化を防衛省として初めて打ち出したことを認めました。一方、軍需産業の要望に応え、武器輸出を拡大することを成長戦略とする——軍需で栄える国など、日本国憲法と相いれないではないかとの質問にはまともに答えることができず、「我が国の平和国家の理念は変わらない」と繰り返すだけ。

憲法の平和主義にのっとり、三原則の抜け道をふさぎ、武器輸出禁止を厳格に貫くことこそ、日本が進むべき道です。

## 市長による 市民対話集会の予定

11月2日  
午後7時から8時30分（開場6時30分）  
六ツ美市民センター2階  
対象：六ツ美南部・中部学区住民

# 岡崎市2012年度（平成24年度） 決算からみえてきたもの② 市議会政務調査費

先日発行した「市議団ニュース（9月議会報告）」の中で、「政務調査費の数字がわかりにくい」とのご指摘がありました。ここで、改めてご説明します。

	政務調査費		行政視察費	
	支給総額	※そのうち 交通通信費 の割合	使用額	予算に対する 支出率
自民清風会	925.3万円	42.5%	169.3万円	66.4%
民政クラブ（ゆうあい21）	503.8万円	50.3%	156.7万円	92.2%
公明党	198.5万円	44.8%	16.6万円	24.4%
黎明**	55.3万円	72.3%	0	0.0%
日本一愛知*	44.9万円	93.3%	0	0.0%
自民絆の会*	50.0万円	91.0%	29.6万円	58.1%
日本共産党	91.3万円	0.0%	0	0.0%

※交通通信費公私の区別の付かない携帯料金とガソリン代を含む。廃止をすべきです。他の市にはない、行政視察費(年間一人17万円)の廃止を要求しています。

政務調査費は議員一人月額5万円支給されます。したがって、会派の政務調査費は人数×5万円×12ヶ月予算化されますが、実際に使った費用が上表の「政務調査費、支給総額」です。また、去年は選挙があり、11月に会派の変更があったため、\*印の会派は前期のみ、\*\*印の会派は後期のみ支給となります。したがって金額にずれがあります。

使った政務調査費の中で、交通通信費は、欄外※のとおり、領収書が不要で定額で支給できます。日本共産党市議団はこれを受け取っていません。政務調査費の約5割から9割が、この領収書不要の公私の区別のつかない費用に充てられているということになります。

行政視察費は、議員一人年間17万円ですが、使わない議員もいます。昨年度つかった議員の額を会派ごとにまとめると「使用額」になります。「予算執行率」というのは、本来17万円×人数で予算計上されている内のいくらかを使ったか、ということです。日本共産党は行政視察費の廃止を求めていますので使用額は0円です。民政クラブなどは、9割以上、使った視察にでかけたこととなります。選挙の年ということもあり、視察を控えた会派もありました。